

「東京都鉄道新線建設等準備基金（仮称）の創設」等について

このことについて、平成30年1月26日、東京都が「東京都鉄道新線建設等準備基金（仮称）の創設」等を含む平成30年度東京都予算案を公表しましたので、別紙のとおりお知らせします。

東京都鉄道新線建設等準備基金（仮称）の創設

都では、交通政策審議会の答申で事業化に向けて検討などを進めるべきとされた6路線について、事業化に向けた検討の深度化を図っていく

- ・羽田空港アクセス線 [田町駅付近等～羽田空港]
- ・東京12号線（大江戸線） [光が丘～大泉学園町]
- ・新空港線 [東急蒲田～京急蒲田]
- ・多摩都市モノレール [上北台～箱根ヶ崎]
- ・東京8号線（有楽町線） [豊洲～住吉]
- ・多摩都市モノレール [多摩センター～町田]

30年度予算では、都が事業主体となる多摩都市モノレールの箱根ヶ崎延伸を含め、6路線の事業化に向けた検討のための調査費を計上

併せて、6路線にかかる事業などの財源として、

「東京都鉄道新線建設等準備基金（仮称）」を新たに創設

- ✓ 現在、社会資本等整備基金に積み立てている財源の一部を切り分け
- ✓ 基金の設置条例案を、平成30年第一回東京都議会定例会に提出

